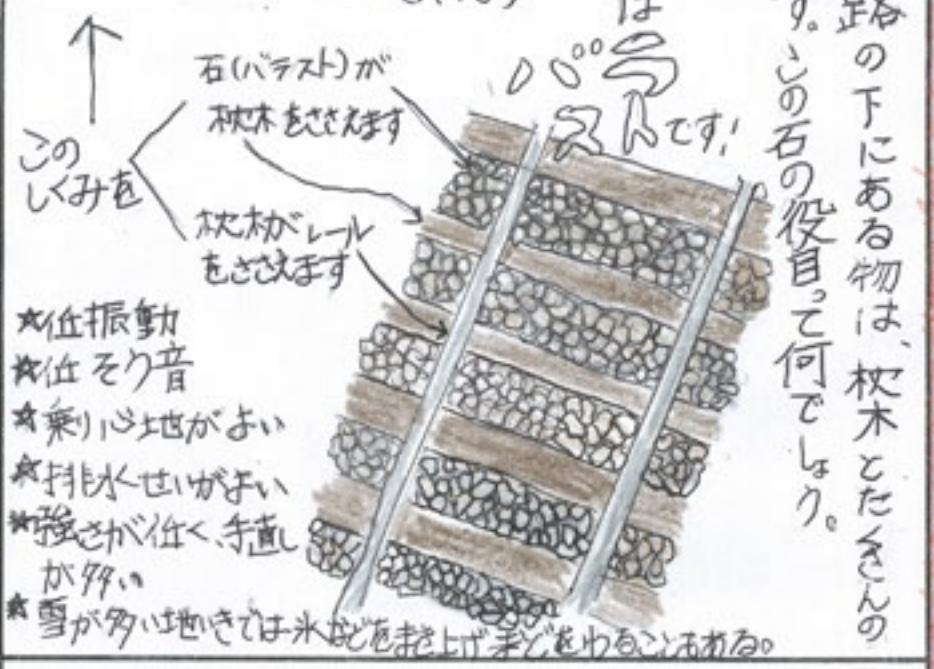
バラスト新聞

名前 田崎 わこ

8月25日

線路のいたずら

バラスト軌道といいます



☆低振動
☆低そう音
☆乗り心地がよい
☆排水せいがよい
☆強さが低く、手直しが多い
☆雪が多い地いきでは氷などをまき上げ、まどをわることもある。

線路の下にある物は、枕木とたくさんの石です。この石の役目って何でしょう。

Q バラストについて教えてください。

A バラストは、とてもかたい石です。車りょうの重さを分散させるクッションになったり、音を小さくしたり、ゆれを少なくするはたらきがあります。バラストをよく見てみると、白い石と茶色の石があることに気づくと思います。電車が通ることで、レールや石と石がぶつかりあって、表面がけずられて小さくなります。それが茶色の石です。小さくなった茶色の石と交かんするので白い石は新しい石です。

Q その白い石はいつ線路におかれるのですか。

A 夜中の二時から始発電車の間にバラストをまくせん用の電車が通ります。

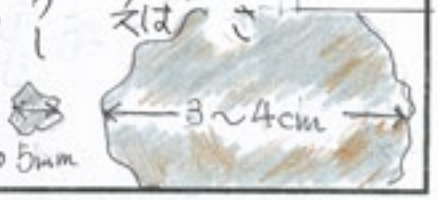
Q バラストをつかってこまった事をおしえて下さい。

A 線路にバラストをおくいたずらがあります。

昭和五十五年、枚方市〜御殿山の間で、中学生がコンクリートのふたを線路において、先頭三両がだっ線する大きなじこがありました。ぜったいに、線路に物をおいてはいけません。

バラストニュース

☆バラストは、さまざまな大きさがあります。大きいものは直径3cm〜4cmです。小さいものは直径5mm〜4cmくらいです。また、バラストは丸い石ではありません。その理由は、丸かったら、石どうしが組み合わなかったり、すべるからです。そしてバラストは枕木の下に入れてバラストをとって重いものにたえれるようになっています。なので石と石の間にすきまができないように色んな形の石があります。



☆バラストはホキ車によって線路にばらまかれます。その後ジャッキで線路をあげて人によって平らにされます。枕木と枕木の間で、タイタンパーというきかいでしん動を、あたえて枕木の下にバラストをいれてついてかためます。今はこのようなやり方が少なくなってスラブ軌道というコンクリートやアスファルトでかためていくのが主流になっています。メリットは直すサイクルがのびることです。デメリットは音をきゅうしゅうしないことです。なのでコンクリートの下にゴムマットをひいたりして音を小さくするくふうがされています。

元JRしょくいんのおじいちゃんの話より。

へん集後記

乗る人も、線路の近くに住む人にも、気持ちよくいられるようにまた、安全に電車が進む一つの工夫でバラストはあるということがわかりました。

京阪電車の駅員さん広島のおじいちゃん、たくさん教えてくれてありがとうございました。